

でとらごぞいます

ご挨拶

日本一住みよいまちの 実現をめざして

益城町長 住永 幸三郎



明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、輝かしい、平成23年の新春を、お健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、町政のさまざまな分野におきまして、町民の皆様のご理解とご協力ならびにご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、世界的金融危機を発端とした国内景気の急速な悪化は一向に回復の兆しは見えず、加えて、雇用情勢の悪化、円高の影響など、今後もさらに厳しい状況が続いて行くのではないかと思われます。

そのような状況ではありますが、当町では皆様のお陰をもちまして、各種道路網の整備、各種検診等の実施による健康福祉対策の充実、益城中央小学校の移転新築、広安西小学校の増築用地の確保、益城中学校グラウンド拡張整備、町内小中学校への大型テレビの導入による教育文化の振興等、まだまだ十分ではありませんが、一定の成果をあげることができました。

さらに、本年からは、コンビニを活用した証明書交付の運用を開始いたします。このことは、まだ全国の自治体でも数団体しか取り組んでおらず、町村では全国2番目、当然県内では一番早い取り組みになります。

これにより、時間外における証明書の発行が可能となり、窓口の混雑緩和

はもとより、より質の高い行政サービスを提供できるものと思っております。

今後は、新たに策定いたしました益城町行政改革大綱を基に、徹底した行政課題である少子高齢化対策の一つとしての、「子育て日本一のまち」「お年寄りの皆様安心して暮らせるまち」の実現はもとより、住環境整備の根幹であります道路網の整備や下水道整備事業の推進、さらには、企業誘致等による「雇用の確保」など、より住民の皆様のご生活に密着した各種事業の実施にスピード感をもって努めてまいります。

しかし、現下の地方行政の状況は、先ほど述べましたとおり、景気の低迷等により、さらに厳しさを増し楽観できるものではなく、今まで以上に、議会をはじめ、町民の皆様と一体となった町づくりが必要不可欠であると思えます。

本年も、職員一丸となって、皆様方に十分ご満足いただける行政サービスの提供に努め、「日本一住みよいまち」の実現を目指してまいります。

わが故郷益城町発展のため、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が、皆様方にとって幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。